

■氷見市景観形成重点地区指定検討委員会のご意見とその対応

<第4回 氷見市景観形成重点地区指定検討委員会>

○実証実験（景観まちづくりウィーク）について

項目	ご意見、ご指摘	対応
景観やまちづくりに興味関心のある市民等への情報発信、巻き込み方	○まちづくりの場に参加したい個人が3名というのは寂しいような気がする。低調である原因についても捉えていくことが大事。市の取組みが市民に伝わっているのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のホームページ、公式SNS（LINE、Instagram）、紙媒体（ニューズレター）を通じて情報発信するほか、一步踏み込んだ情報に触れられるオンラインプラットフォーム（my groove ひみ）を運用し、サポーター募集を随時行っています。</li> <li>※サポーターに募集いただいた2名は、my groove ひみを通じての応募</li> </ul>
	○企画から自分でしたい人を募集し、想定よりも多い6組が応募してくれたこと、その中に昨年度WS等の参加者が複数名いることは昨年度、今年度の成果である。一方で、まちづくりの場に参加したい市民が3名というのはやや寂しいため、サポーター募集をする中では告知をしっかりとすることが重要。	
	○今回のテーマである景観やまちづくりに興味のあるユーザーがどこにいるか、そこに適切に情報が届いているか等を、発信元である事務局が把握しないと有効な情報発信ができない。募集の有無に関わらず、随時景観まちづくりに関わる情報を発信していくことで有効な媒体になっていくため、常に情報発信が行っていくことが重要。	
令和6年度以降に発展・継続していく仕組みづくり	○40歳代よりも若い世代は、Instagramでの情報収集がメインになっている。巻き込みたい世代に合わせて、Instagramのような開かれた媒体を使っていくことが有効。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の展開、意識の高まりに応じた段階的な連携・協働の体制の構築について記載します。（詳細は、資料2「第6章 景観まちづくりの推進」）</li> </ul>
	○来年、再来年、10年後にどのように繋いでいくか、輪を大きくしていくかが重要。	
令和6年度以降に発展・継続していく仕組みづくり	○実証実験等の動きが次の年にどのように繋がっていくかが見えないところがある。一年の積み重ねをどのように活かしていくのか視点をより強く意識して、示してもらえるとよい。	

## ○景観形成重点地区 景観まちづくりプランについて

項目	ご意見、ご指摘	対応
全体について	<p>○人の営みや活動も景観の一部と捉え、推していく考えを掲げていくのであれば、景観まちづくりウィークなどの実証実験をしながら、次年度以降も推進していく流れはわかりやすい。そこに規制をするハード面の話が入ってきた時に、説明が弱い印象を受ける。指定される地域の方々が賛同してくれるような説明が必要。最終的には、素敵な未来が想像できるような形まで持って行っていただきたい。</p> <p>○規制のマイナスと良くなったと感じる市民意識のプラス、最終的にプラスが大きくなればよい。最低でも地価が上がるようなものをつくっていききたい。</p> <p>○今以上に資産としての価値が上がる取組みにしていくことは大事な視点。</p>	<p>・国道 415 号沿道においては、沿道の物的環境（ハード）を活かした新たな営み（ソフト）を創出することが重要との考えに基づき、「建築物等の物的環境の魅力づくり」と「生き生きとした営みの創出」の両輪で、推進の仕組みを構築します。（詳細は、資料 2「第 6 章 景観まちづくりの推進」）</p>
資源を守りいかした景観づくり	<p>○まず、“資源”をどのように捉えるかが重要であり、いきなり方針を掲げるのではなく、資源を活かした景観をつくることの意義をまずきちんと掲げてほしい。</p>	<p>・国道 415 号沿道における“資源”の捉え方、それらを活かした景観づくりについて位置付けます。（詳細は、資料 2「第 4 章 資源を守りいかした景観づくり」）</p>
建築物等による景観づくり	<p>○沿道に様々な人の活動や生業が表出していく意図に対して、景観マネジメントのようなソフトはもちろん、ハード面からも支援していくことができると考えている。そういった要素がプランにも散りばめられている。具体的には、まち並み形成方針等の中で、オープンスペースを設けること等、活動の表出に繋がる具体的な内容が記載されている。今年度の景観まちづくりウィークとの関連も含めて、第 5 章のポイントを説明いただくと、繋がりが分かりやすくなる。</p> <p>○規制をするのであれば、期限を決めて是正の補助をする等の仕組みをセットで示すべき。規制だけでして既存を残したままで、景観が改善することはイメージしにくい。</p>	<p>・「まち並み形成方針」をエリア別（景観まちづくり地区／国道 415 号沿道シンボルロード地区／国道 415 号沿道氷見 IC 周辺地区）に再整理するとともに、内容の一部見直し、イメージの追加をしています。（詳細は、資料 2「第 5 章 建築物等による景観づくり」）</p> <p>・既存不適格に対する是正補助について今後検討を進めます。</p>

<p>文体の統一など</p>	<p>○「敬体（～です・～ます）」と「常体（～だ・～である）」が混在しているため統一した方がよい。小学生や中高生も含む幅広い世代の市民に読んでいただくことを考えると、敬体の文章の方が柔らかくて良いと思う。</p>	<p>・敬体（～です・～ます）の文章に統一します。</p>
----------------	--	-------------------------------